

第8回図書館基本計画策定委員会 議事要録

日 時 平成30年11月13日(火) 17時30分開会 19時閉会

場 所 中央図書館視聴覚ホール

出席者 委員9名

船崎委員長、松山委員長職務代理、赤羽委員、大津委員、岡本委員、桂委員、金子委員、北本委員、福島委員

事務局12名

鎌田図書館長、目澤武蔵野プレイス副館長

加藤課長補佐、前田課長補佐、盛田プレイス課長補佐、森本課長補佐、佐々木主事、須藤主事、岩崎主任、西田主任

山名様、高橋様(文化科学研究所)

内 容 1 議事

(1) 議事録の確認について(資料1-1、1-2)

(2) 計画案について(資料2-1、2-2、2-3)

2 その他

配布資料 次第

図書館フォーラム議事録(資料1-1)

第7回図書館基本計画策定委員会 議事要録(資料1-2)

武蔵野市図書館基本計画案1031_前半(資料2-1)

武蔵野市図書館基本計画案1031_後半(資料2-2)

武蔵野市図書館計画概要篇(資料2-3)

基本計画案P56およびP59~65の差し替え

【事務局】

定刻となったので開会する。

本委員会は傍聴基準に基づき公開しており、今回は2名の傍聴希望者がある。よろしく願いしたい。

次に資料を確認する。資料が不足している場合は申し出ていただきたい。

このあとは議事となるので、委員長に進行をお願いする。

【委員長】

承知した。

まずは事務局から、議事録について説明を。

★議事（１） 前回議事録の確認について

【図書館長】

資料１－１および１－２をお願いしたい。

事前に送付しているが、図書館フォーラムおよび前回委員会の内容を取りまとめた。この内容で確認・承認をいただければ、終了後に公開したい。

【委員長】

何かあれば意見、質問を。

（意見なし）

次の議題に移る。事務局より説明を。

★議事（２） 計画案について（資料２－１、２－２）

【図書館長】

前回委員会でのご意見を踏まえ基本計画案を修正した。これが「中間のまとめ」となるので、ご議論いただきたい。また、それらをまとめた概要版も本日提出している。

（以下、資料について説明）

【委員長】

何かあれば意見、質問を。

【委員】

P16の職員数について、「27.7名」、「3.4名」など小数点以下の数値で表記しているのはなぜか。

【事務局】

年間の勤務時間合計1,500時間を1名として、勤務形態が多様な臨時職員や非常勤職員の勤務時間数を換算したことによる。「武蔵野市の図書館」（年次報告書）でも同じ方法で記載している。確かにわかりにくいかもしれないので、注釈を加えたい。

【委員】

中央図書館は金曜日が休館だが、金曜日は開館してほしいという要望を耳にしたことがある。これについて市の意見を聞きたい。

【図書館長】

利用者の利便性を考えて、プレイスと吉祥寺は水曜日、中央図書館は金曜日と、休館日をずらしている。中央図書館の休館日を金曜日にしたのは、統計的に金曜日の来館者数が少なかったこと、他の公共施設とのバランスによる。

【委員】

そういった理由であれば、強い要望があれば休館日を別の曜日に移すことも可能か。

【委員長】

3館で休日をずらして中央図書館の休日を金曜日にした際には、理髪店など月曜日が休日の業種の方からは「これで図書館が使える」と喜ばれた。様々な要望の方がいるので、休日をずらすには検討が必要になるだろう。

【図書館長】

全体としてのバランスを見ながら検討をすることになると思う。

休日や開館時間という点では、中央図書館の土日の開館時間延長の必要性、一方でプレイス図書館部門の開館時間が長すぎるとのご指摘もあり、これらについて今後検討していきたいと考えている。

【委員】

基本計画については、すっかりしてわかりやすくなった。事務局にはよく取りまとめてもらえたと思う。

【委員長】

「知る自由」について変更したようなので、事務局から説明を。

【図書館長】

「知る自由の保障」について、以前は「重点的な取組」の「図書館の力を高める」に入っていたが、これは図書館行政の前提であろうというご意見もあり、基本理念（P38）の説明の中に入れて、具体的な内容である「重点的な取組」からは外した。

【委員長】

基本理念の冒頭で「図書館の責務である『知る自由の保障』を原点におき～」と、すべてこれが原点という形になっているので、むしろこのほうが良いと思うが、この点についてはよろしいか。

（意見なし）

それでは他にどうぞ。

【委員】

P38について、表題に「1-1 基本理念」とあるので、枠上の「基本理念」は不要では。

【委員長】

この「基本理念」は削除でよいか。

（意見なし）

では削除する。

【委員】

前回話題になった「知識の面でのセーフティネットを～」の部分は“知識”か“知”か。

【委員長】

ここは前回に議論があって「知」から「知識」に変更したものの、その後に“知”に戻したらどうか？という意見もあったと聞いている。いかがか。

【委員】

『知』の面でのセーフティネット～の方が合うと思う。

【委員長】

ここは“知”に戻してよいか？

(意見なし)

では“知”に戻すこととする。

【委員】

P38の「ひととまちを「知」で支える」の“ひと”が平仮名となっている理由は。“ひと”“まち”とずっと平仮名が続くのは違和感がないか。

【委員長】

これは、当初からずっとひらがなで、プレイスと共通という理由もあったように思う。

【委員】

そういうことなら問題ない。

【委員】

P46「4-2. 図書館運営に関する項目」の直前に「基本理念や基本方針を実現するために具体的に進めていく事業について、領域ごとに示します。」との記載があるが、かえって分かりにくくならないか。

【委員】

ここは4-2、4-3を包括的に指している文章であると私は理解したが。

【委員】

これはページが変わったから、両方にかかっているように見えるのか。

【委員】

おっしゃるとおりだと思う。

【委員】

ということは、ここに書くのであれば番号付けを変える必要がある。もしくは削除してもよいのでは。

【委員】

簡潔な方がよいので、必要がなければ削除でよいのでは。

【委員長】

ではここは削除とする。

【委員】

前回の委員会において、図書館から声かけしてボランティア活動を盛んにしてはどうか、そのことを基本計画に明記してほしいと話したが、反映がまだ十分ではないように思う。

具体的には P53 の「①市民との協働」の部分。これまで実績のある方たちとこれからもやっていきますという文章があるが、ここに「新しい動きを受け入れる」という方針、せめて気持ちだけでも記載してほしい。

【図書館長】

ご意見は承知しており、具体的な記載内容については本日の検討を踏まえて修正したいと考えていた。また、直接的ではないが、P50「④開かれた図書館運営」「[22] 情報公開の実施」で、開かれた運営に向けて様々な情報公開をしていくといった内容は追加している。

【委員長】

ボランティア受け入れに関する記述はもう一步踏み込んでみては、という意見だが、どうか。

【委員】

近年、ボランティアに対する市民の意識は向上していると感じる。ラグビーワールドカップのボランティアも定員を大きく超えたとのこと。

ボランティアとして図書館に関わりたいという人が大勢いるならば、そういった意欲を持つ人をすくい上げて積極的に活用したい、という意味が表れる表現を加えてはどうか。

【委員長】

具体的な文言の提案などあれば、ぜひ。

【委員】

武蔵野市としてどこまで踏み込むかによるが、これだけ委員から意見が出ているので、「計画

期間内にこの問題を真剣に議論して答えを出したい」といった内容を書き込むのはどうか。

ボランティアは実は多くの現実的な問題を抱えており、図書館側として簡単に書けないというのも理解できる。ボランティアに意欲を持って取り組んでいただくためには、実は図書館側でケアする人材が十分に必要となる。そのコストは誰が担うのか。自発的なボランティアでなければ手取り足取り指導する必要もあり、お世話が本当に大変なもの事実。

ただ一方で、武蔵野市は市民活動の実績があるので、そういった“手取り足取り”にならない仕組みが作れるようにも思う。

どこの市でも図書館ボランティア団体は乱立しているが、実際に解決する仕組みとしては、市民側が自発的にいわゆるサポーターグループ・友の会組織をつくり、全てのボランティアがそこに“個人”として加入し、その団体がボランティア間の連絡調整をして意志決定し、行政側とコミュニケーションをとるというスタイルが考えられる。

それを「作る」と宣言するではなく、そういった新しい形をこの計画期間内に「検討」するという書き方はどうか。そもそも、これは市民サイドの話であって、行政としてコミットできるものではないし。

市民の側もボランティアに対する考え方はかなり多様。例えば「布絵本の活動だけをやりたい、それ以外は全く関心が無い」というタイプ、活動ありきではなく自分の能力を生かしたいタイプなど、市民の側も簡単には一枚岩にはならない。

その現状を考えると、拙速に何かを決めてここに記載するより、議論して決めるための場を計画期間中に設置するという書き方が一番良いのではないかと思う。

【委員】

今の意見に賛成する。災害時などを見ていると、ボランティアが十分に活動できるためには受け入れの仕組みづくりが大切。自分も参加しているが、FC東京・市民スポーツボランティア（スポボラ）は組織や仕組みがよくできているので、参考になると思う。

【図書館長】

ご議論に感謝したい。今いただいたご意見のとおり、ボランティア受け入れにおける仕組みの重要性は十分に認識している。しかし、ではどのような仕組みがよいのかとなると難しい面がある。

基本的には、計画期間の前期5年で検討し実施するスケジュールで考えているので、それを文言として入れ込んでいきたい。

【委員長】

よろしく願います。

【委員】

私は、この基本計画に「新刊ベストセラー書籍の過剰な複本購入は抑制し、～」と明記されたことは極めて大きいと思っている。武蔵野市立図書館は、プレイスなどハード面で注目されがちだが、こういった運用のソフトの部分、計画策定の部分で先鞭を付けることがきちんと明

文化されたことを高く評価したい。いち早く公表されることを望みたい。

【図書館長】

誤字等についてもご指摘いただきたい。

【委員】

P50の「[22] 情報公開の実施」、P56「③市民の生涯学習や市民活動の支援充実」の4行目に「。」が2つある。

【委員】

英数字の全角半角の統一。また、「オンライン・データベース」は「オンラインデータベース」に統一。

【図書館長】

英字は半角で統一する。

【委員】

行政文書では英数字の全角・半角が入り乱れている。検索する時にネックになるので、読みやすさの点から、全て半角にすることをぜひ勧めたい。

【図書館長】

数字の全角・半角については、市の総務課が二ケタ以上は半角で、1ケタは全角と指導しており、この計画書もそれになっている。それでは検索の際に支障があるのだろうか。

【委員】

それはコンピュータを使った印刷技術が普及する前のルールで、なぜか今も生き残っている。確かに国レベルでもそのルールとしている例もある。

その際に最も問題となるのは、検索エンジンにヒットしなくなること。この基本計画はPDFで公開すると思うが、半角全角をうまく処理できる検索エンジンばかりではないので、必要事項や該当事項を探す方に見れば、どちらかに統一されている方が便利。

【図書館長】

理解した。

【委員】

概要版について聞きたい。

【図書館長】

「概要版」は、計画のエッセンスをまとめたもので、概要的に説明する際に用いる。基本的

には中間まとめの内容と同じであるが、ご意見があればいただきたい。

【委員】

基本理念の「ひと と まち」は平仮名で書いてあるが、「ひと」「まち」とカギ括弧で括って
はどうか。

【委員】

カギ括弧が多いと品位が下がるように思う。どうしても見難ければ、“と”と“を”の文字ポ
イント数を少し小さくするのはどうか。空白を空けるよりその方が良いかもしれない。ただ、
最終の仕上げの時が良いと思う。

【委員長】

よろしいか。

それではその他に入る。事務局から説明を。

【事務局】

本日の議論を踏まえて修正し、今月中を目標に正副委員長にご確認いただいて「中間のまと
め」として確定する。

これを12月10日の教育委員会の定例会で報告、翌11日の市議会の文教委員会で行政報告し、
その翌日から31日まで、郵送やメールでパブリックコメントを募集する。市報や図書館ホーム
ページ、SNS等で広報し広く意見を募集したいと考える。

ここで集まったパブリックコメントについて事務局で対応方針を提案し、次回委員会ではそ
れをご検討いただきたい。

【委員長】

では、次回委員会の日程調整をする。

～日程調整～

【委員長】

次回委員会は2月5日（火）とする。

【図書館長】

その後は、パブリックコメントによる修正を踏まえた計画書の最終確認ということになるが、
今回のように正副委員長に預かっていただく形でよければ、2月5日を最終の委員会とする方
法もある。3月は皆様お忙しいかと思うがいかがか。

【委員】

せっかくこれだけやってきたので、最後に集まってもよいのではないか。

【委員】

最終版は、やはり私達が見た方が良いのでは。日程が合わないのであれば仕方がないが、可能なら最後はきちんと締めたい。

【委員長】

では、第10回の日程調整をしたい。

～日程調整～

【委員長】

第10回は3月6日（水）とする。

その他、何かあるか。

（特になし）

以上で第8回図書館基本計画策定委員会を閉会する。